

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【公開番号】特開 2019-134348 (P2019-134348A)
【公開日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)
【年通号数】公開・登録公報 2019-032
【出願番号】特願 2018-16105 (P2018-16105)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)
H 0 4 N 1/387 (2006.01)
G 0 3 G 15/04 (2006.01)
G 0 3 G 15/36 (2006.01)
G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A
H 0 4 N 1/387
G 0 3 G 15/04
G 0 3 G 15/36
G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 29 日 (2021.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿が載置される積載部と、
前記積載部に載置された前記原稿を搬送する搬送手段と、
前記原稿が搬送される搬送方向に交差する幅方向における前記原稿の長さに対応する第 1 幅を検知する第 1 検知手段と、
前記搬送手段により搬送されている前記原稿の画像を読み取り、読み取り結果を表す画像データを出力する画像読取手段と、
前記画像データに基づいて、前記画像読取手段によって読み取られた前記原稿の画像の前記幅方向における長さに対応する第 2 幅を検知する第 2 検知手段と、
前記画像データに基づいて、前記搬送手段によって搬送されている前記原稿の前記幅方向に対する傾き量を決定する決定手段と、
前記決定手段によって決定された前記傾き量に基づいて、前記画像データに対して傾き補正を行う補正手段と、
を有し、
前記補正手段は、前記第 1 幅と前記第 2 幅とに基づいて前記傾き補正を実行するか否かを決定することを特徴とする、
画像読取装置。

【請求項 2】

前記傾き量が所定値よりも大きく且つ前記第 2 幅が前記第 1 幅に対応する値よりも小さい場合、前記傾き補正は実行されないことを特徴とする、
請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 3】

前記傾き量が所定値よりも小さく且つ前記第 2 幅が前記第 1 幅に対応する値よりも小さい場合、前記傾き補正は実行されることを特徴とする、
請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 4】

前記傾き量が所定値よりも大きく且つ前記第 2 幅が前記第 1 幅に対応する値よりも大きい場合、前記傾き補正は実行されることを特徴とする、
請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記傾き量が所定値よりも小さく且つ前記第 2 幅が前記第 1 幅に対応する値よりも大きい場合、前記傾き補正は実行されないことを特徴とする、
請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 6】

前記画像読取装置は、前記積載部に設けられ且つ前記積載部に載置されている前記原稿の前記幅方向における位置を規制する規制部を有し、
前記第 1 検知手段は、前記規制部の位置に基づいて前記第 1 幅を検知することを特徴とする、
請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の画像読取装置。

【請求項 7】

前記画像読取装置は、前記第 2 検知手段が前記第 2 幅を正常に検知できなかった場合に前記第 2 幅を正常に検知できなかったことを示す情報を利用者に通知する通知手段を有することを特徴とする、
請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の画像読取装置。

【請求項 8】

前記画像読取装置は、前記決定手段が前記傾き量を正常に決定できなかった場合に前記傾き量を正常に決定できなかったことを示す情報を利用者に通知することを特徴とする、
請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の画像読取装置。

【請求項 9】

前記第 2 検知手段は、前記画像読取手段が読み取った前記画像における前記原稿の端部の影に基づいて前記第 2 幅を検知することを特徴とする、
請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の画像読取装置。

【請求項 10】

原稿が載置される積載部と、
前記積載部に載置された前記原稿を搬送する搬送手段と、
前記搬送手段により搬送されている前記原稿の画像を読み取り、読み取り結果を表す画像データを出力する画像読取手段と、
前記画像データに基づいて、前記搬送手段によって搬送されている前記原稿の幅方向に対する傾き量を決定する決定手段と、
前記決定手段によって決定された前記傾き量に基づいて、前記画像データに対して傾き補正を行う補正手段と、
を有し、
前記補正手段は、前記搬送手段によって搬送されている原稿が定型サイズの前記原稿である場合は前記傾き補正を実行し、前記搬送手段によって搬送されている原稿が前記定型サイズの前記原稿でない場合は前記傾き補正を実行しないことを特徴とする、
画像読取装置。

【請求項 11】

前記画像読取装置は、
前記原稿が搬送される搬送方向に交差する幅方向における前記原稿の長さに対応する第 1 幅を検知する第 1 検知手段と、
前記画像データに基づいて、前記画像読取手段によって読み取られた前記原稿の画像

の前記幅方向における長さに対応する第 2 幅を検知する第 2 検知手段と、
を有し、

前記補正手段は、前記第 1 幅と前記第 2 幅とに基づいて、前記搬送手段によって搬送されている原稿が前記定型サイズの前記原稿であるか否かを決定することを特徴とする、

請求項 10 に記載の画像読取装置。

【請求項 12】

前記補正手段は、前記第 1 幅、前記第 2 幅、及び、前記傾き量に基づいて、前記搬送手段によって搬送されている原稿が前記定型サイズの前記原稿であるか否かを決定することを特徴とする、

請求項 11 に記載の画像読取装置。

【請求項 13】

前記画像読取装置は、前記積載部に設けられ且つ前記積載部に載置されている前記原稿の前記幅方向における位置を規制する規制部を有し、

前記第 1 検知手段は、前記規制部の位置に基づいて前記第 1 幅を検知することを特徴とする、

請求項 11 又は 12 に記載の画像読取装置。

【請求項 14】

前記第 2 検知手段は、前記画像読取手段が読み取った前記画像における前記原稿の端部の影に基づいて前記第 2 幅を検知することを特徴とする、

請求項 11 乃至 13 のいずれか一項に記載の画像読取装置。

【請求項 15】

請求項 1 乃至 14 のいずれか一項に記載の画像読取装置と、

前記傾き補正が実行された前記画像データに基づいて、シート上に画像を形成する画像形成手段を有することを特徴とする、

画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の画像読取装置は、原稿が載置される積載部と、前記積載部に載置された前記原稿を搬送する搬送手段と、前記原稿が搬送される搬送方向に交差する幅方向における前記原稿の長さに対応する第 1 幅を検知する第 1 検知手段と、前記搬送手段により搬送されている前記原稿の画像を読み取り、読み取り結果を表す画像データを出力する画像読取手段と、前記画像データに基づいて、前記画像読取手段によって読み取られた前記原稿の画像の前記幅方向における長さに対応する第 2 幅を検知する第 2 検知手段と、前記画像データに基づいて、前記搬送手段によって搬送されている前記原稿の前記幅方向に対する傾き量を決定する決定手段と、前記決定手段によって決定された前記傾き量に基づいて、前記画像データに対して傾き補正を行う補正手段と、を有し、前記補正手段は、前記第 1 幅と前記第 2 幅とに基づいて前記傾き補正を実行するか否かを決定することを特徴とする。